

鶴住居地区住民説明会 (復興まちづくり協議会・地権者連絡会)

平成29年8月26日(土)
10:00～

開催場所：鶴住居地区生活応援センター

次 第

- 1 挨拶
- 2 本日の趣旨とこれまでの経緯
- 3 鵜住居地区まちなか再生計画の概要について
 - (1) 事業者の推移
 - (2) 事業者の被災と再建状況
 - (3) 鵜住居地区仮設施設の供用時期
 - (4) 鵜住居まちなか再生計画の概要
 - (5) 鵜住居地区施設配置計画
 - (6) 今後のスケジュール
 - (7) 鵜住居地区祈りのパーク整備の概要
- 4 意見交換

1. 挨拶

2. 本日の主旨とこれまでの経緯

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

今回の鵜住居地区住民説明会（復興まちづくり協議会・地権者連絡会）は、

1 鵜住居地区まちなか再生計画の概要について

- (1) 事業者の推移
- (2) 事業者の被災と再建状況
- (3) 鵜住居地区仮設施設の供用時期
- (4) 鵜住居まちなか再生計画の概要
- (5) 鵜住居地区施設配置計画
- (6) 今後のスケジュール
- (7) 鵜住居地区祈りのパーク整備の概要

について次第に沿って説明させていただきます。

これまでの経緯①

○平成25年4月19日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・国・県事業の進捗報告
- ・鵜住居地区の土地利用計画 ほか

○平成25年7月6日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・鵜住居駅前津波復興拠点事業について
- ・下水道事業計画について
- ・住宅再建支援制度について ほか

○平成25年9月28日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・土地区画整理事業スケジュールの見直しについて
- ・土地区画整理事業の進捗について ほか

○平成25年11月3日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・復興事業の進捗状況について
- ・公共施設の配置計画について ほか

これまでの経緯②

○平成25年12月14日、16日、17日、18日、19日、21日

- ・住宅再建意向調査の結果について
- ・鶴住居のまちづくりについて ほか

○平成26年4月12日、13日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・事業のスケジュールについて
- ・市北部の公共交通に関する検討案について ほか

○平成26年8月10日

- ・ラグビーワールドカップ開催都市立候補について

○平成27年3月28日、29日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・工事進捗状況及びスケジュールについて
- ・宅地整備基準（案）について
- ・駅前施設整備について ほか

これまでの経緯③

○平成27年5月31日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・新釜石市民体育館の位置について
- ・鵜住居地区の復興公営住宅、集会施設平面計画案について
- ・鵜住居駅周辺の整備について

○平成28年3月27日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ①鵜住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
 - ②ブロックごとの宅地引渡しスケジュールについて
 - ③造成工事から住宅建築までの流れについて
 - ④住宅再建に係る補助制度について
 - ⑤下水道受益者負担金及び下水道使用料について
 - ⑥鵜住居地区の復興公営住宅について
 - ⑦鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について
- ・お知らせ（盛岡財務事務所）

これまでの経緯④

○平成28年9月24日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ①鵜住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
 - ②宅地引渡しスケジュールについて
- ・宅地引渡し可能時期のお知らせについて
- ・宅地品質の考え方について
- ・土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール（案）について
- ・町界、町名の変更と住居表示について
- ・住宅再建に係る補助制度について
- ・津波避難環境づくりに関する取組みについて
- ・鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について

○平成29年3月26日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・まちなか再生計画について
 - ①商業施設（共同店舗）について
 - ②公園・市有地の土地利用について
 - ③震災メモリアルパークについて
 - ④観光交流拠点施設について
 - ⑤市民体育館について
 - ⑥鵜住居小学校・釜石東中学校について

これまでの経緯⑤

○平成29年4月30日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・ 工事進捗状況及びスケジュールについて
- ・ 鵜住居地区の復興公営住宅について
- ・ 集会所について
- ・ 住宅再建に係る補助制度について
- ・ 鵜住居地区の活性化に向けた市有地活用事業について
- ・ ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けて
　～スポーツの力で地域を創生～
- ・ 鵜住居こどもまちづくり協議会の活動状況について

3. 鵜住居地区まちなか再生計画の概要について

(1) 事業者の推移



[平成21年経済センサス浸水範囲概況]

□震災前の事業者数 2,396 □被災した事業者数 1,382 (全体の57.7%)

上記のうち半壊以上の1,035事業者を調査

調査年月	H25.4	H27.6	H28.6	H29.4
再建済み	406事業者	480事業者	524事業者	545事業者
休業・廃業済み	94事業者	187事業者	306事業者	313事業者
再建予定		26事業者	34事業者	32事業者
不明	321事業者	171事業者	0事業者	0事業者
仮設店舗営業中	214事業者	171事業者	171事業者	145事業者

参考)

年度	平成25年度 (1次～9次)	平成26年度 (1次～12次)	平成27年度 (1次～15次)	平成28年度 (1次～17次)
グループ補助金 累計交付決定数 ※()内は完工分	31グループ	32グループ	34グループ	38グループ
	239事業者	240事業者	243事業者 (181事業者)	252事業者 (184事業者)

※平成26年経済センサス (H26.7) 1,898事業者 21%減

【課題】仮設商店街に最後まで残った商業者への対応 11

(2) 事業者の被災と再建状況



仮設店舗の状況（29.4.30現在）

箇所数	区画数	入居数	再建退去
12箇所	208区画	170区画	69事業所

再建状況調査（被災事業者：145事業者）

区分	事業者数	地区別		
		東部	鶴住居	その他
自力再建希望	69	26	34	9
テナント再建希望	45	37	6	2
再建希望 計	114	63	40	11
29年度	30	23	4	3
30年度	24	1	20	3
時期未定	60	39	16	5
未定	12	9	3	0
廃業予定	19	11	4	4
合計	145	83	47	15

(3) 鵜住居地区仮設施設の供用時期



○鵜住居地区仮設店舗の入居状況及び供用完了時期

施設名	用途	区画数	入居区画	供用完了
鵜！はまなす商店街	店舗・事務所	9	6	平成31年3月末
鵜住居町神ノ沢地区 仮設企業団地	店舗・事務所	34	33 (2)	平成31年3月末
鵜住居町神ノ沢地区 第2仮設企業団地	店舗・事務所	10	10	平成31年3月末
合 計		53	49 (2)	

※()は非被災事業者



平成31年3月の仮設施設供用完了に向け、きめ細やかな支援を行う

(4) 鶴住居まちなか再生計画の概要

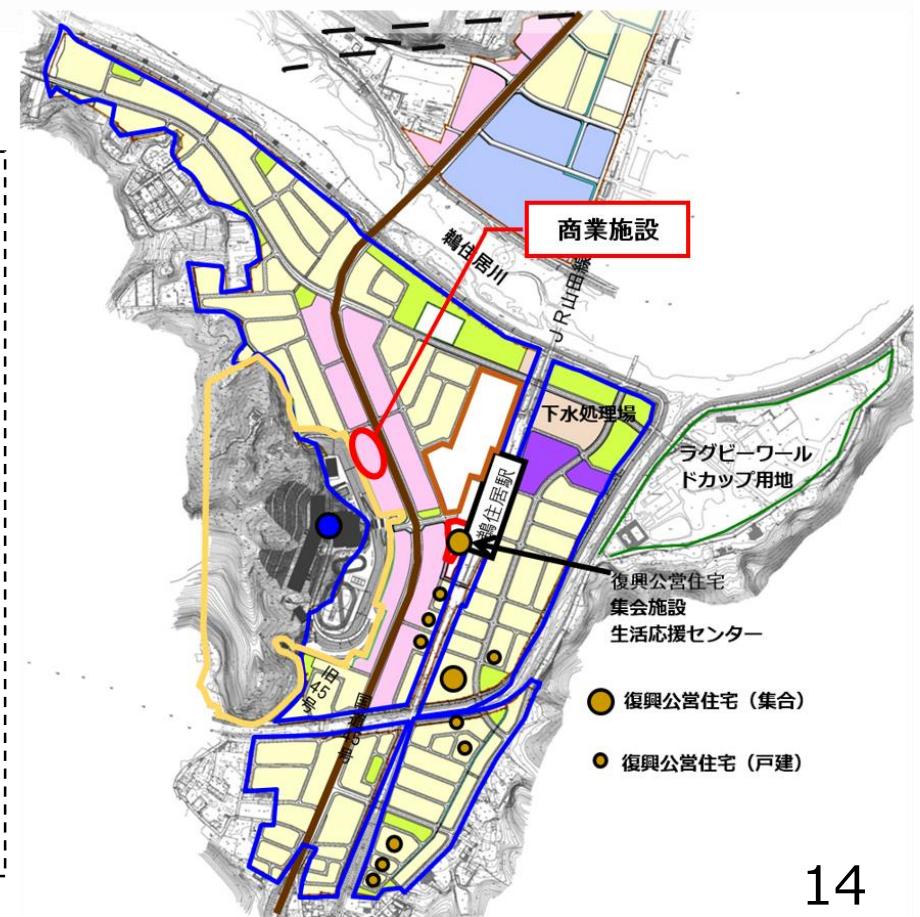


[鶴住居地区まちなか再生計画]

- 鶴住居地区全体を俯瞰しながら整備方針を決定し、将来を見据えた復興まちづくりを行う必要があるため、各種土地利用、公共施設、民間商業施設等の整備、配置計画を総合する上位の計画として、鶴住居地区まちなか再生計画を策定。

[まちなか再生計画の構成]

- 再生の基本方針・区域設定
- テナント配置計画
- 土地利用、公共施設の配置計画
- 基本計画図、概算見積
- 商圈の現状分析、今後の動向
- まちの賑わい再生・強化の方策
- 自動車・歩行者導線計画
- 事業主体及び管理運営スキーム検討 等



(5) 鵜住居地区施設配置計画



◆商業施設◆

共同店舗により商業施設を整備。
平成31年3月開業予定

◆祈りのパーク◆

鵜住居地区防災センター跡地に、
祈念公園を整備。
平成31年3月供用開始予定

◆沿道商業ゾーン◆

地元商業者が再建するエリア

◆鵜住居駅◆

被災した鵜住居駅を復旧。
平成31年3月供用開始予定

◆津波伝承施設◆

東日本大震災の記録と記憶
を継承する施設を整備。
平成31年3月供用開始予定

◆市民体育館◆

被災した釜石市民体育館を
再建。
平成31年9月供用開始予定

◆観光交流施設◆

海産物や農産物の直売施設
や飲食施設を整備。
平成31年3月供用開始予定



(6) 今後のスケジュール

●まちなか再生計画策定及び各施設の整備スケジュール

	平成29年度				平成30年度				平成31年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
まちなか再生計画 津波立地補助金	まちなか再生計画策定 第1回委員会	テナント公募 第2回委員会	第3回委員会	辅助金申請								
鵜住居地区商業施設建設					設計・建設工事				供用開始			
観光交流施設	設計				建設工事				供用開始			
祈りのパーク	設計				建設工事				供用開始			
津波伝承施設	設計				建設工事				供用開始			
市民体育館	設計				建設工事				供用開始			
鵜住居駅			建設工事						供用開始			



駅前地区に整備する施設のうち、祈りのパークについて、御説明させていただきます。

鵜住居地区祈りのパーク整備推進委員会において、承認されたレイアウト案をお示し、皆様から御意見をいただきます。

○基本理念

津波による犠牲をなくし、未来の命をまもるために
—震災を後世に伝え、悲劇が繰り返されないまちづくりを発信する—

震災メモリアルパークは、上記の基本理念のもと、以下の5つの機能（目的）を果たします。

- ・「悼む」 犠牲者を慰霊、追悼、鎮魂し、生きることの大切さ、素晴らしい等を感じる場
- ・「伝える」 ... 震災の経験、記憶、教訓、震災時の市民の行動、復興への軌跡を次世代へ継承
- ・「学ぶ」 防災意識の向上・情報発信、防災学習の推進
- ・「集う」 地域住民の日常的な憩い・交流ができるスペース
- ・「防ぐ」 安全な場所に整備し、いざという時は緊急避難できる避難路を確保

○経過

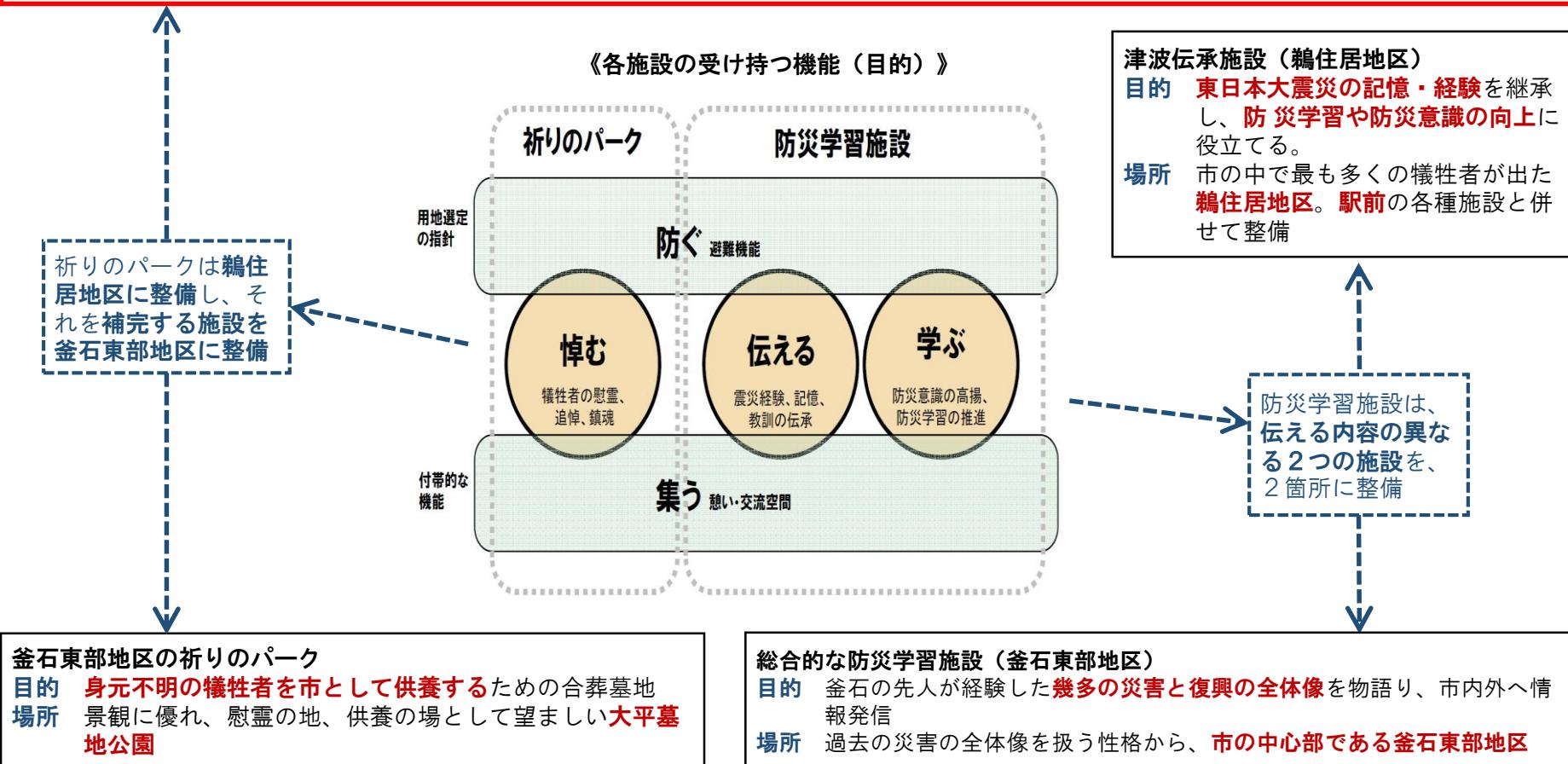
- ・平成24年12月、釜石市震災メモリアルパーク整備検討委員会設置（全6回開催）
- ・平成26年3月、「釜石市震災メモリアルパーク整備基本構想」策定
- ・平成26年9月、釜石市震災メモリアルパーク整備基本計画策定委員会設置（全7回開催）
- ・平成27年7月、「釜石市震災メモリアルパーク整備基本計画」策定
- ・平成29年2月、鵜住居地区祈りのパーク整備推進委員会設置（7/3現在、6回開催）
- ・平成29年6月、鵜住居地区祈りのパークのレイアウト決定。

○施設整備の目的と基本方針

鵜住居地区祈りのパーク（平成31年2月整備完了予定）

目的 東日本大震災の犠牲者を「悼む」場とし、次の津波犠牲者ゼロの願いを込めた、釜石らしいある、市全体の施設とする。

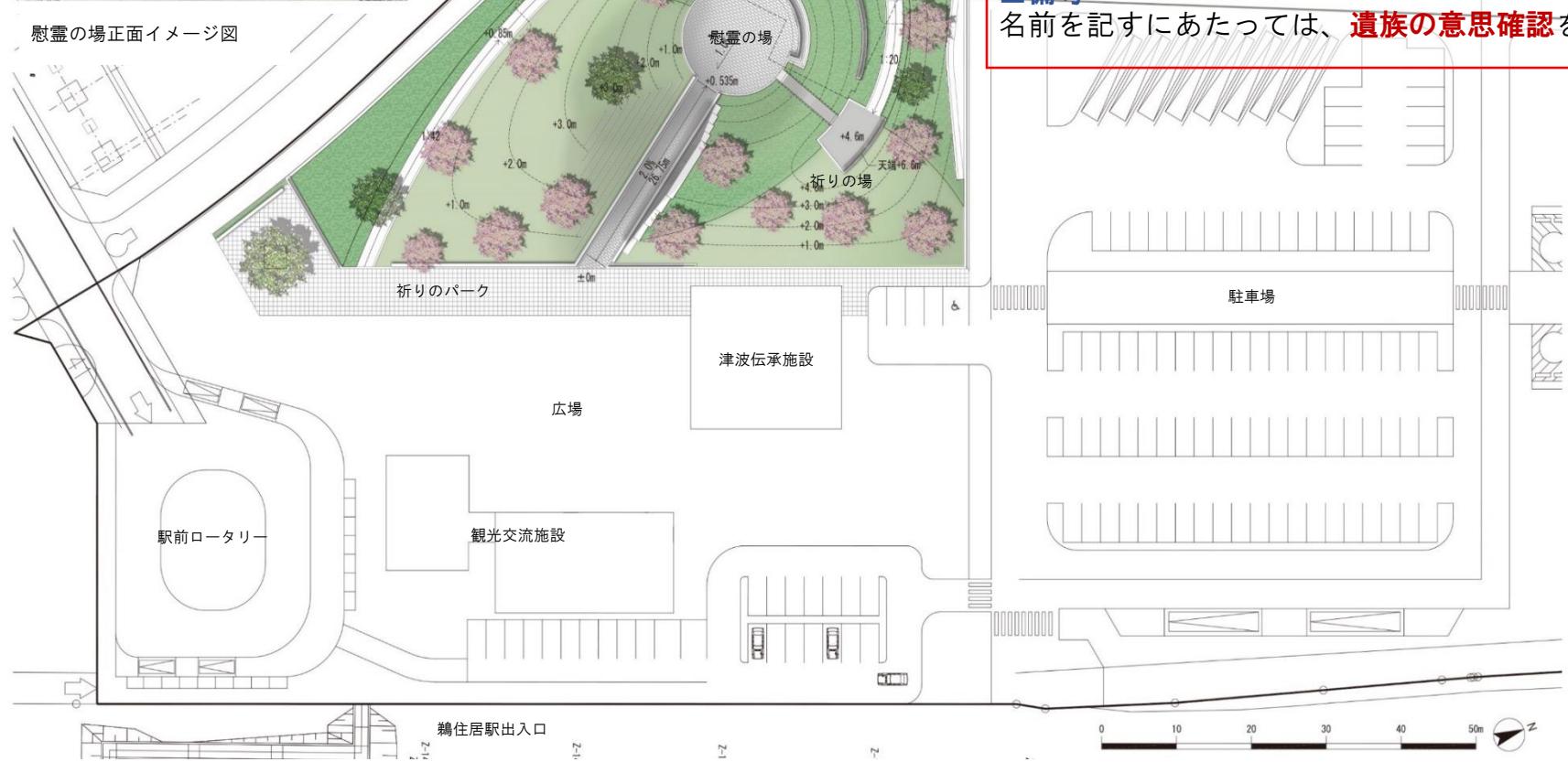
場所 市内で最も津波の被害が大きかった鵜住居地区、かつ、多くの市民の理解が得られる鵜住居地区防災センター跡地を含む位置とする。



○祈りのパークレイアウト



慰霊の場正面イメージ図



東日本大震災犠牲者の名前を記す慰靈碑・芳名板を設置

■記し方

プレート方式の芳名板に見える形で記す。

■記す範囲

震災当時に住民登録があった市民とし、**直接死・震災関連死・行方不明者**をすべて含める。

■記す順番

五十音順で記す。

■備考

名前を記すにあたっては、**遺族の意思確認**を行う。

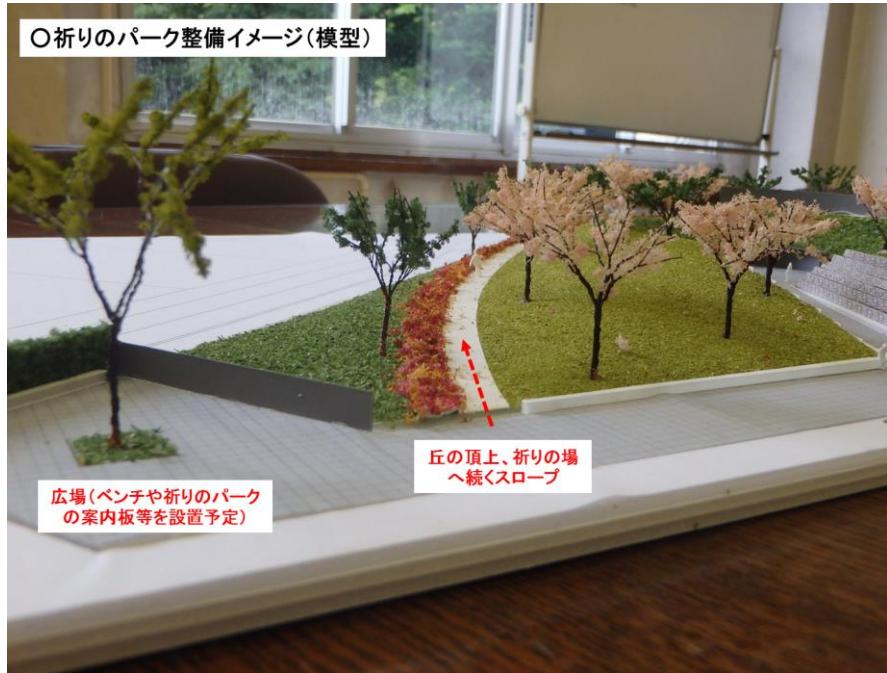
○祈りのパーク整備イメージ①



○祈りのパーク整備イメージ②



○祈りのパーク整備イメージ③



【整備検討結果報告(要旨)】

(1) 鵜住居地区祈りのパークレイアウトについて

- ⇒ 「防災センター跡地」であることを記すモニュメントを設置する。
- ⇒ 基本計画(A案)がいいという少数意見もあった。

(2) 犠牲者のお名前を記す範囲等について

(3) 今後の市追悼施設・追悼品の取り扱いについて

- ⇒ 現市追悼施設は、常楽寺敷地内において引き続き追悼の場としての利用を継続する。
- ⇒ 防災センターの一部構造物・備品・供物は、祈りのパーク、津波伝承施設で利用・展示・保管する。

(4) 祈りのパークの名称選定の進め方について

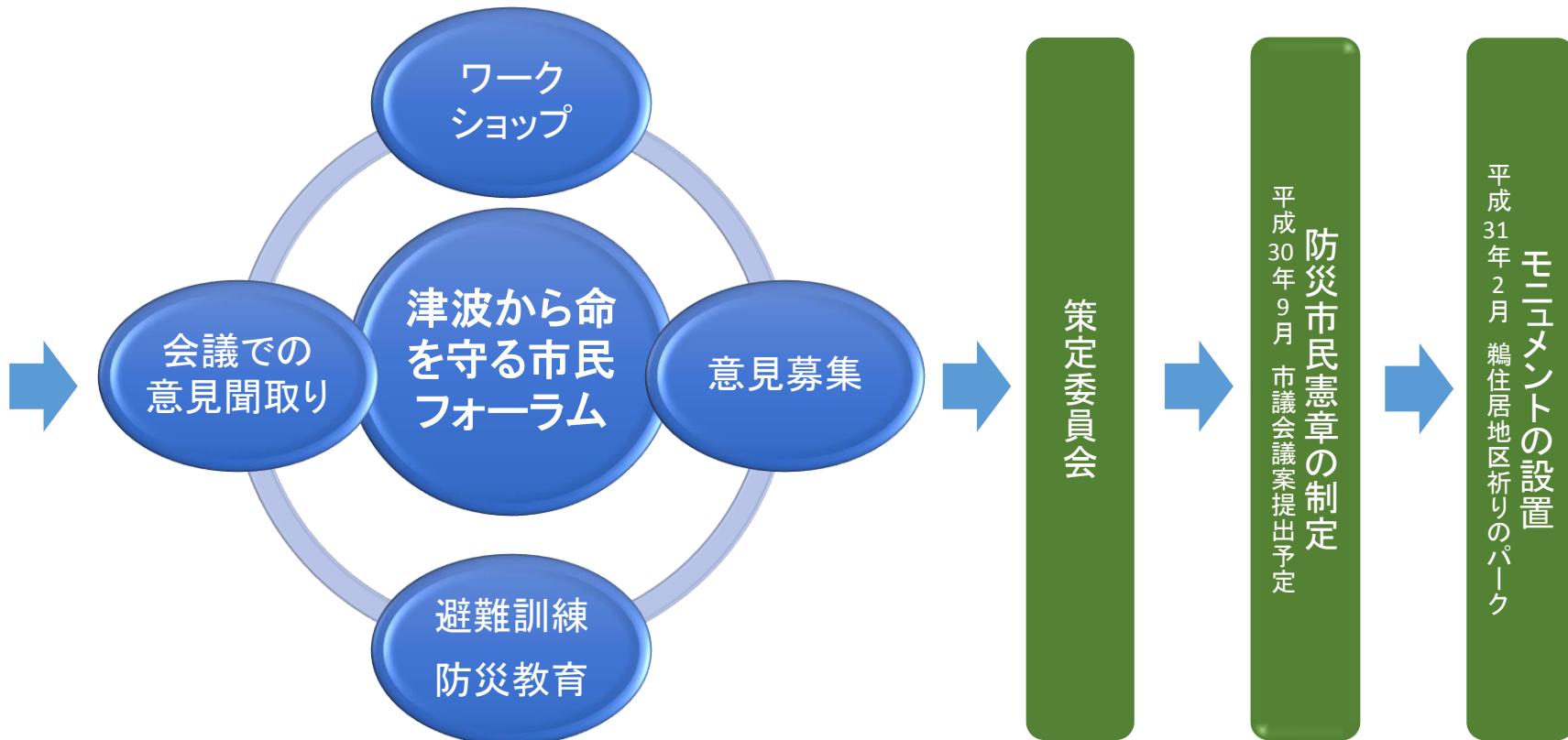
- ⇒ 祈りのパークの名称は、今後、公募して決定する。

(5) 祈りのパークの管理運営について

- ⇒ 地域住民の意見を反映し、運営管理に参加する調整をする。
- ⇒ 周辺施設の運営の在り方も合わせて検討する。

防災市民憲章策定の進め方

津波から未来の命を守るために釜石の教訓



4. 意見交換
